

報道関係者 各位

平成 26 年 5 月 16 日

【照会先】

職業安定局派遣・有期労働対策部

企画課若年者雇用対策室

室 長 牛島 聡 (内線 5862)

室長補佐 吉田 勉 (内線 5333)

(代表電話) 03(5253)1111

(直通電話) 03(3597)0331

大学等新卒者への就職支援の状況について ～「未内定就活生への集中支援 2014」により大学生約1万7千人の就職が決定～

本日、厚生労働省及び文部科学省は、平成 25 年度新規学校卒業予定者の就職内定状況を発表しました。

この結果、新規大学卒業予定者の就職内定率は、平成 25 年 10 月 1 日時点で 64.3% (平成 9 年 3 月卒の調査開始以来 9 番目) でしたが、平成 26 年 4 月 1 日現在は 94.4% (前年同期差 0.5 ポイント増、平成 9 年 3 月卒の調査開始以来過去 6 番目) となっています。

新規学校卒業予定者の厳しい就職環境を踏まえ、厚生労働省、文部科学省、経済産業省が連携した「未内定就活生への集中支援 2014」に取り組みました (詳細は別紙 1)。

高校・大学等とジョブサポーターとの連携による個別支援の徹底により、1 月～3 月末で未内定者約 3 万 7 千人が就職決定しました。特に、平成 26 年 3 月卒の大学生については、同期間に約 1 万 7 千人の就職が決定しました (詳細は別紙 2)。

新規大学卒業者の就職希望率も高水準にあり、秋以降もあきらめずに就職活動を続ける姿勢がうかがえます (詳細は別紙 3)。

就職が決まらないまま卒業した方に対しても、就職内定者と同様に社会人としてのスタートがきれるよう、6 月末までを目途に、ジョブサポーターによる集中的な個別支援を実施し、1 日でも早い就職の実現に向け、全力を尽くします (詳細は別紙 4)。

【添付資料】

- 別紙 1 「未内定就活生への集中支援 2014 の取組状況」
- 別紙 2 「平成 25 年度におけるジョブサポーター支援対象就職決定者数」
- 別紙 3 「新規大学卒業者の就職希望率の推移」
- 別紙 4 「未就職卒業生への集中支援 2014」



未内定就活生への集中支援2014の取組状況

新卒者の就職環境が依然として厳しいことを踏まえ、文部科学省、厚生労働省、経済産業省は、未内定の学生・生徒が1人でも多く卒業までに就職できるよう、1月21日から3月末までを集中支援期間とし、「未内定就活生への集中支援2014」を実施しました。

【実績】就職者数：約**3.7万人**（前年度約4.1万人）

※就職希望者数のうち未就職卒業者数（推計値）：約**4.2万人**（前年度約4.2万人）

未内定の学生・生徒に「就職をあきらめさせない」ためのジョブサポーターや大学の就職相談員等の連携による個別支援の徹底（文科・厚労*）

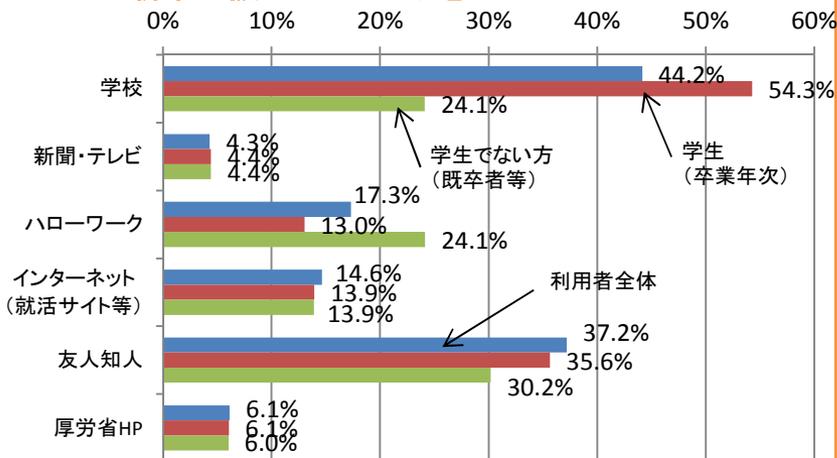
【実績（平成26年1月～3月末）】相談件数 のべ154,744件、**就職者数 37,413人**

大学等から未内定者に新卒応援ハローワークを積極的に周知。大学生の利用者のうち**約54%**が大学等からの送り込みにより、新卒応援ハローワークに来所。

【実績（平成26年1月～3月末）】

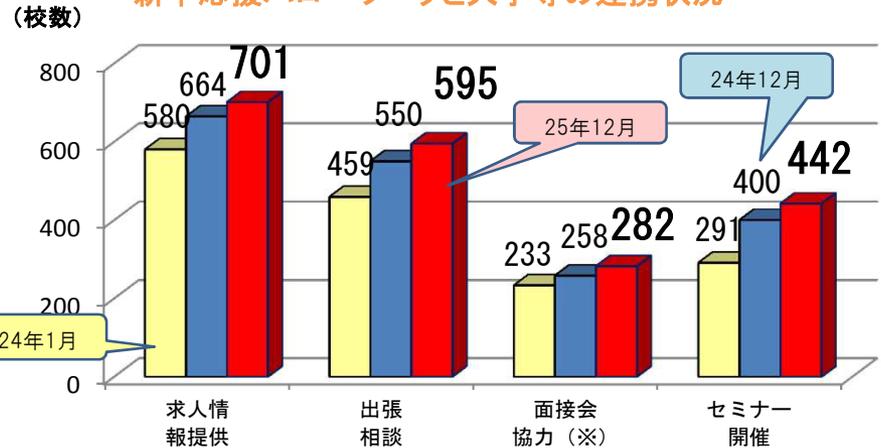
のべ利用者数 **109,194人**

新卒応援ハローワークを知ったきっかけ



出所：職業安定業務統計「新卒応援ハローワーク利用者アンケート調べ」（26年2月）

新卒応援ハローワークと大学等の連携状況



出所：職業安定局業務統計「大学との連携状況」(25年12月)

(※) 大学が開催する面接会等へのジョブサポーターの派遣、参加企業のあっせんなど

新卒応援ハローワークと大学との連携が進み、平成25年12月末時点で**736キャンパス**※（平成24年12月現在では711キャンパス）が新卒応援ハローワークと連携し、学生の就職支援をしている。

※1大学に複数の校舎があり、それぞれ別の新卒応援ハローワークと連携している場合は、別のキャンパスとしてカウント。

中堅・中小企業中心の就職面接会の開催（厚労＊・経産）

未内定の学生・生徒のために、中堅・中小企業を中心とした就職面接会を開催。

【実績（平成26年1月～3月末）】

大学生向け 145回 / 求人数 19,149人 / 参加学生数 7,921人

高校生向け 77回 / 求人数 8,104人 / 参加学生数 1,547人

（開催例）

「平成25年度第4回新規大卒者等合同就職面接会」

開催日：平成26年2月5日 主催：東京新卒応援ハローワーク及び東京都

参加企業数：146社 求人数：1,742人 参加学生数：1,173人

地域の大学等との連携による中小企業と大学生等とのマッチング等の実施

（新卒者就職応援プロジェクト、地域中小企業の人材確保・定着支援事業）

（経産＊・文科・厚労）

未内定の学生を含む新卒者等に対し中小企業・小規模事業者が実施する職場実習を支援する他、地域の中小企業・小規模事業者が一体となって大学、ハローワーク等と連携し、学生との日常的な顔の見える関係作りから新卒者等の採用・定着までを一貫して支援する体制を整備。

【実績（平成26年1月～3月末）】

未内定就活生を対象とした合同就職説明会の開催：41回（約9,700人の学生・既卒者が参加）

保護者を通じた未内定の学生・生徒への就職支援の周知（文科・厚労＊）

未内定の学生・生徒を持つ保護者に就職の現状に対する理解を求めるとともに、学生・生徒に対して新卒応援ハローワーク等の就職支援について周知を実施。

【実績（平成26年1月～3月末）】

保護者への相談件数：9,002件、保護者対象セミナー：35回（1,188人）

啓発文書の送付：40,229通（うち、学校を通じた送付24,264通）

臨床心理士による未内定の学生・生徒の心理的ケアの実施（厚労）

就職活動の長期化等により心理的ケアが必要な未内定の学生・生徒に対する新卒応援ハローワーク等に定期的に配置した臨床心理士による心理的ケアを実施。

【実績（平成26年1月～3月末）】

相談件数：977件

民間就職情報サイトによるジョブサポーター・新卒応援ハローワーク等の周知（厚労）

主要な民間就職情報サイトに対し、ジョブサポーターや新卒応援ハローワーク等の支援の周知のためのバナー掲載について協力いただき、未内定の学生への周知を徹底しました。

（期間中に協力いただいた就職情報サイト（運営会社名五十音順））

- | | |
|--|---------------------------|
| ○「就活ラボ2014」： https://www.ac-lab.jp/2014/top/index.php | （運営）株式会社 アクセスヒューマネクスト |
| ○「[en]学生の就職情報2014」： http://enjapan2014.com/ | （運営）エン・ジャパン 株式会社 |
| ○「学情ナビ2014」： http://www.gakujo.ne.jp/2014/ | （運営）株式会社 学情 |
| ○「Re就活」： http://re-katsu.jp/career/ | （運営）株式会社 学情 |
| ○「就職ウォーカーNet2014」： http://www.s-walker.net/2014/ | （運営）株式会社 ジェイ・ブロード |
| ○「就職ウォーカーNet2015」： http://www.s-walker.net/2015/ | （運営）株式会社 ジェイ・ブロード |
| ○「就活ナビ2014」： https://navi14.shukatsu.jp/14/ | （運営）株式会社 ダイヤモンド・ビッグアンドリード |
| ○「日経就職ナビ2014」： https://job.nikkei.co.jp/2014/top/ | （運営）株式会社 日経HR、株式会社 ディスコ |
| ○「ブンナビ！2014」： https://bunnabi.jp/2014/ | （運営）株式会社 文化放送キャリアパートナーズ |
| ○「マイナビ2014」： http://job.mynavi.jp/2014/ | （運営）株式会社 マイナビ |
| ○「リクナビ2014」： http://job.rikunabi.com/2014/ | （運営）株式会社 リクルートキャリア |

政府広報によるジョブサポーター・新卒応援ハローワークの周知（厚労）

政府広報を活用し、平成26年1月から各種新聞への広告掲載及びラジオ番組でのインフォメーション等、ジョブサポーターによる支援や新卒応援ハローワークについて未内定の学生やその保護者等への周知を徹底しました。

【政府公報】政府公報オンライン特集ページ http://www.gov-online.go.jp/tokusyuu/jakunen_koyo/index.html

※ 複数の省が連携して実施している支援メニューについての問い合わせ先は、*印の省へお願いします。

平成25年度におけるジョブサポーター支援対象就職決定者数

- ◇ 年度前半は未就職卒業者が多く、年度後半は現役の未内定学生が増加する傾向となっています。
- ◇ ジョブサポーターの新卒者（大学4年生等）に対する支援は、主に卒業が間近に迫った年度後半を中心に実施しており、大学と連携することにより、年度末までに未内定の学生を新卒応援ハローワークに登録し、学生に対し切れ目のない支援を提供しています。

【実績】 ◇平成26年3月卒業者の平成26年1月～3月末の間の就職決定件数は**37,413人**（前年度比**8.0%減**）

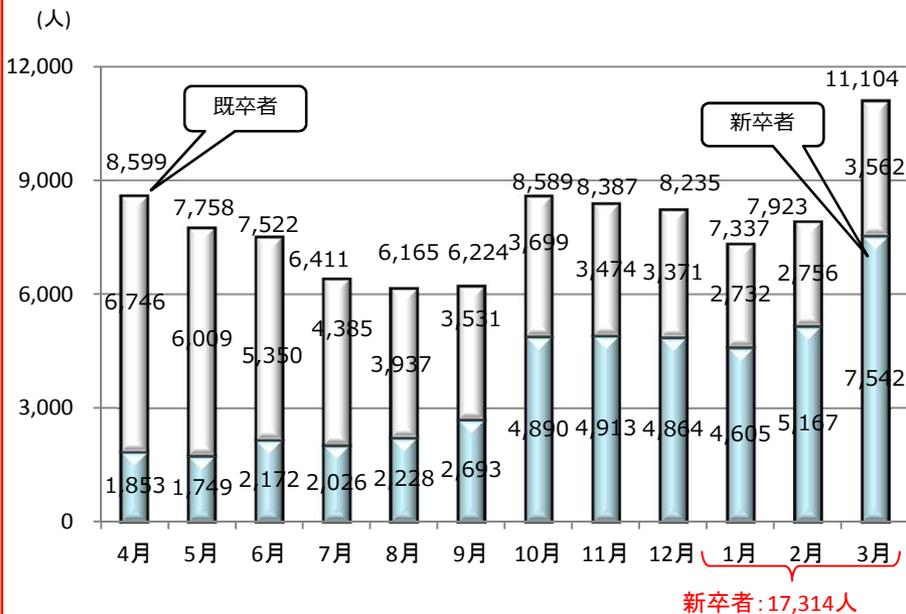
（うち、**大学生17,314人**（前年度比**0.7%減**））。

※平成25年1月～3月末はそれぞれ、40,651人（うち、大学生17,431人）。

◇大学生の就職決定件数（平成25年度計）は**94,254人**（前年度比**5.8%増**）、うち新卒者は**44,702人**（前年度比**13.7%増**）、既卒者は**49,552人**（前年度比**0.4%減**）となった。

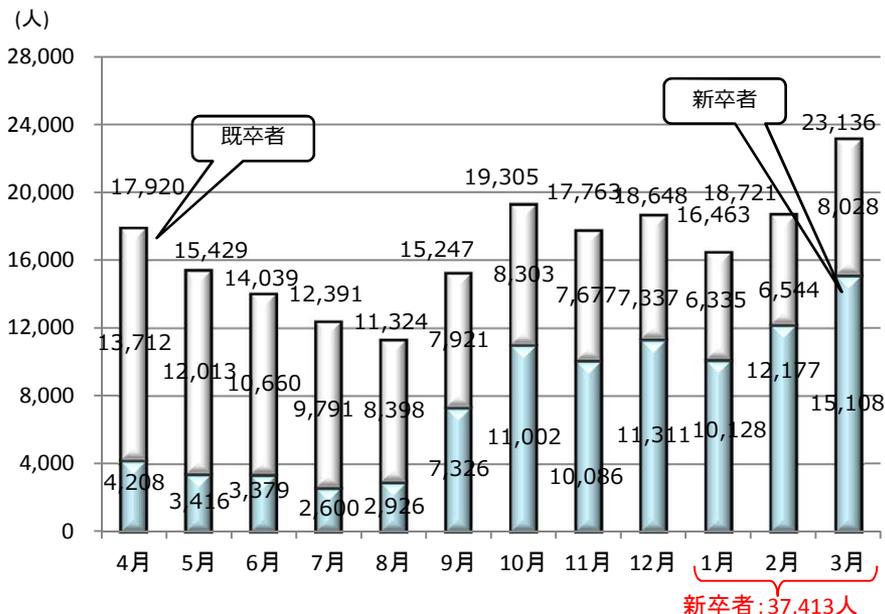
◇学歴計の就職決定件数（平成25年度計）は**200,386人**（前年度比**3.5%増**）、うち新卒者は**93,667人**（前年度比**7.4%増**）、既卒者は**106,719人**（前年度比**0.3%増**）となった。

大学生就職決定件数（新卒・既卒）



(出所)職業安定業務統計

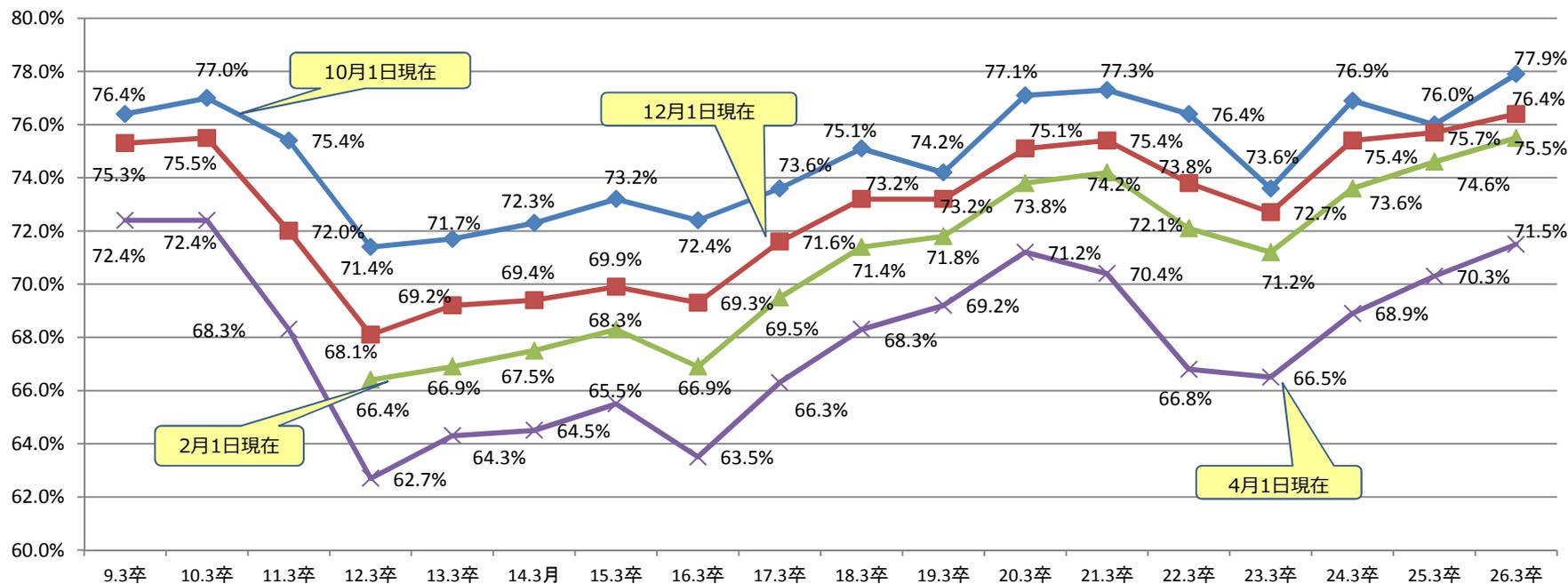
就職決定件数（新卒・既卒/学歴計）



新規大学卒業者の就職希望率の推移

◇ 新規大学卒業者の就職希望率は、上昇傾向にあり、多くの企業が内定を出す10月1日以降もあきらめずに就職活動を続ける姿勢がうかがえます。

◇ 卒業までに就職が決まらなかった場合であっても1日でも早く就職できるよう、引き続き6月末までを集中支援期間とし、「未就職卒業生への集中支援2014」に取り組み、卒業後もジョブサポーターによる個別支援を継続し、就職が決まるまで全力で支援を行います（詳細は別紙4）。



(資料出所)「大学等卒業予定者就職内定状況調査」(厚生労働省・文部科学省)

(注)就職希望率は、卒業予定者数に占める就職希望者の割合。



未就職卒業生への集中支援2014

- ◇ 厚生労働省、文部科学省及び経済産業省は、1人でも多くの新卒者が卒業までに就職できるよう、1月21日から3月末まで「未内定就活生への集中支援2014」に取り組み、1月から3月末までにジョブサポーターの支援によって、約3万7千人が就職しています。
- ◇ 卒業までに就職が決まらなかった場合であっても1日でも早く就職できるよう、引き続き、6月末までを集中支援期間とし、「未就職卒業生への集中支援2014」に取り組み、**卒業後もジョブサポーターによる個別支援を継続し、就職が決まるまで全力で支援を行います。**

新卒応援ハローワーク等で卒業後も継続して就職活動を全力で支援します！

新卒応援ハローワーク等においては、卒業後もジョブサポーターによる個別支援を引き続き継続するとともに、1日でも早く就職できるよう、全力で支援を行います。

ジョブサポーターによる個別支援

大学等とジョブサポーターとの情報共有による支援（大学等の協力により把握した未内定者への電話による来所勧奨や求人情報の送付など）を継続するとともに、就職活動についてのアドバイスや希望に沿った求人情報の提供などの個別支援を徹底し、1日でも早い就職を目指します。

新卒応援ハローワークの所在地・連絡先：<http://www.mhlw.go.jp/topics/2010/01/tp0127-2/dl/5a.pdf>

就職面接会の開催

中小・中堅企業を中心に就職面接会を随時開催し、企業との出会いの機会を増やします。

地域の大学等との連携による中小企業と大学生等とのマッチング等の実施

未内定の学生を含む新卒者等に対し中小企業・小規模事業者が実施する職場実習を支援する他、地域の中小企業・小規模事業者が一体となって大学、ハローワーク等と連携し、学生との日常的な顔の見える関係作りから新卒者等の採用・定着までを一貫して支援する体制を構築します。 中小企業庁ホームページ (<http://www.chusho.meti.go.jp/keiei/koyou/iinzai.htm>)

※ 上記の支援や新卒応援ハローワークについては、卒業後も利用可能です。

さらに、ニーズに応じて無料の職業訓練やインターンシップも活用し、就職を支援します。

無料の職業訓練等によるスキルアップ

求職者支援制度による職業訓練において設定される未就職卒業生向けの無料の職業訓練や企業に雇用されながら生きた技能・技術を学ぶための雇用型訓練を活用し、スキルアップを支援します。

詳しくはお近くのハローワークまでお問い合わせください (<http://www.mhlw.go.jp/kouseiroudoushou/shozaiannai/roudoukyoku/>)。

中小企業・小規模事業者の事業現場でインターンシップを実施

中小企業・小規模事業者の事業現場で働く上で必要な技術・技能・ノウハウを習得する機会を提供するため、中小企業・小規模事業者で実施する職場実習（いわゆるインターンシップ）を支援します。

中小企業庁人材対策事業ホームページ：<http://www.chusho.meti.go.jp/keiei/koyou/iinzai.htm>

～未就職のまま卒業された方に対する就職支援を継続して行います～

○ 卒業後も引き続き、新卒応援ハローワーク、ジョブサポーター等による支援を継続し、1日でも早い就職を目指します。

【未内定のまま卒業された方のうち、新卒応援ハローワーク、ジョブサポーター等の支援による就職の実績】

平成25年4月～6月：19,755人

平成24年4月～6月：24,663人

平成23年4月～6月：19,815人

～ジョブサポーター等の支援による未内定卒業生の就職事例～

事例1

県外の大学を卒業と同時に帰郷したAさん。実家に戻ったものの、再び大学のあった地域への就職を希望し、自ら就職活動を行うも、なかなか就職が決まらず、ほぼ毎週県外に通うという状況であった。ハローワークに登録後、ジョブサポーターが、ハローワークの全国ネットワークの強みを生かし、求人検索時に希望職種と就業場所を絞り、情報提供を行うとともに、応募先に応じた模擬面接を繰り返し行った結果、効率的な就職活動も出来、ほぼ同時に2社内定し、希望の1社に就職決定となった。

事例2

焦りは抱いていたものの、ほとんど就活しないまま卒業してしまったBさん。「何がやりたいかわからない」と沈んだ様子で新卒応援ハローワークに来所。早速自己分析からスタートすると、小学校から大学のサークルまでスポーツ三昧、ゼミは地域政策、アルバイトやインターンシップでは接客と、実は幅広い経験をしていたことを客観的に思い出すことで徐々に自信を回復。やがて「地元で根差して経験をしたい」意欲が固まった。毎週ハローワークに通い、自己PRや志望動機を練り、面接練習を重ね、企業研究や時事問題を追究した結果、第一志望とした企業へ採用となった。

事例3

大学4年次の7月～9月に語学留学後、10月から就職活動を開始したCさん。大学出張相談で職業相談を複数回実施。当初英語を活かせる仕事にこだわり、大都市圏でも就職活動をしたが不調。相談の過程で職種を拓げるも未内定のまま卒業。就職をあきらめることのないようCさんの気持ちに寄り添いながら、卒業後も新卒応援ハローワーク窓口で担当者制による職業相談、模擬面接等の支援を実施した結果、海外に複数の拠点を持つ事業所の正社員（総合職）に採用となった。

事例4

2浪1留で引け目もあったため3回生の9月から就活を始めたDさん。しかし履歴書を書く段階で行き詰まり、3回生の終りに自分は就活しないと決めた。4回生からアルバイトをし、卒業後もフリーターで1年半働いていたが、このままでもいいのか不安になり、新卒応援ハローワークを訪ねた。新卒応援ハローワークでは、自分のことをよくわかってくれるジョブサポーターと相談し、模擬面接セミナーでは他の受講生の面接風景を見て自分も面接官の目を持つことができ、他の受講生からの厳しい助言も力にした。相談と応募により少しずつ前進を重ね、本気の就活を始めて1ヶ月半で、人生初の内定を得ることができた。